

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

3/5/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011399517 **Image available**
WPI Acc No: 1997-377424/ 199735
XRPX Acc No: N97-313609

Advertising information registration method using computer - involves comparing stored advertising information and input advertising information and altering stored advertising information according to comparison result

Patent Assignee: TOPPAN PRINTING CO LTD (TOPP)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 002

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 9160970	A	19970620	JP 95317872	A	19951206	199735 B
JP 3265958	B2	20020318	JP 95317872	A	19951206	200222

Priority Applications (No Type Date): JP 95317872 A 19951206

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 9160970	A	18		G06F-017/60	
JP 3265958	B2	18		G06F-017/60	Previous Publ. patent JP 9160970

Abstract (Basic): JP 9160970 A

The method involves transferring an advertising information which is input through an advertising request person's terminal (101) to a server (10). An advertising information is prestored in the memory.

Comparison between the prestored advertising information and the input advertising information is performed. If both are not matching, then, the stored information is altered to store the input advertising information.

ADVANTAGE - Does not obstruct advertising request person's advertising volition. Reduces work load. Avoids trouble caused during alteration of already prestored advertising information.

Dwg.1/24

Title Terms: ADVERTISE; INFORMATION; REGISTER; METHOD; COMPUTER; COMPARE; STORAGE; ADVERTISE; INFORMATION; INPUT; ADVERTISE; INFORMATION; ALTER; STORAGE; ADVERTISE; INFORMATION; ACCORD; COMPARE; RESULT

Derwent Class: P85; T01; W01

International Patent Class (Main): G06F-017/60

International Patent Class (Additional): G06F-012/00; G06F-013/00; G06F-017/30; G09F-027/00

File Segment: EPI; EngPI

3/5/2 (Item 1 from file: 347)

DIALOG(R)File 347:JAPIO
(c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05546170 **Image available**
METHOD FOR REGISTERING ADVERTISEMENT INFORMATION

PUB. NO.: 09-160970 [JP 9160970 A]

PUBLISHED: June 20, 1997 (19970620)

INVENTOR(s): SATO TAKAYA

TAKEDA TOSHIO

ISHIDA HIROSHI

HOSOKAWA KATSUYA

APPLICANT(s): TOPPAN PRINTING CO LTD [000319] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 07-317872 [JP 95317872]

FILED: December 06, 1995 (19951206)

INTL CLASS: [6] G06F-017/60; G06F-012/00; G06F-013/00; G09F-027/00

JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications); 30.9

(MISCELLANEOUS GOODS -- Other); 45.2 (INFORMATION PROCESSING
-- Memory Units)
JAPIO KEYWORD:R011 (LIQUID CRYSTALS)

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To change/update registered advertisement information without troublesomeness and hindering advertisement desire in an advertisement information registering method for performing the registration of the advertisement information requested by advertisement client by a computer system.

SOLUTION: The terminal equipment 101 of an advertisement client is connected to a server 10 through a network, the advertisement information inputted from the terminal 101 by the advertisement requester is transferred to the server 10 and advertisement information is registered. At this time, the advertisement requester prepares and transmits the update information on the advertisement information together with update expected data and hour information by the editor function of the terminal 101 regardlessly of the shop information input screen supplied from the server 10. The server 10 updates advertisement information at a designated update expected data and hour.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-160970

(43)公開日 平成9年(1997)6月20日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
G 06 F 17/60			G 06 F 15/21	Z
12/00	5 4 7		12/00	5 4 7 H
13/00	3 5 5		13/00	3 5 5 C5
G 09 F 27/00			G 09 F 27/00	Z

審査請求 有 請求項の数5 O.L (全18頁)

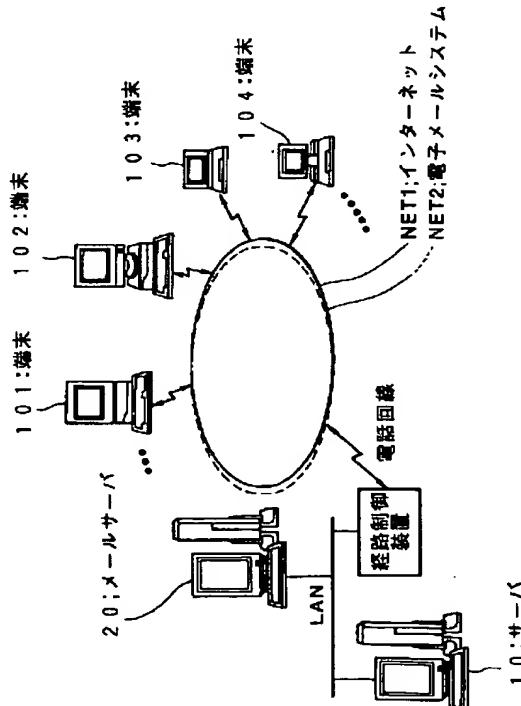
(21)出願番号	特願平7-317872	(71)出願人	000003193 凸版印刷株式会社 東京都台東区台東1丁目5番1号
(22)出願日	平成7年(1995)12月6日	(72)発明者	佐藤 孝也 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印 刷株式会社内
		(72)発明者	武田 敏雄 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印 刷株式会社内
		(72)発明者	石田 寛 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印 刷株式会社内
		(74)代理人	弁理士 川▲崎▼ 研二 (外1名) 最終頁に続く

(54)【発明の名称】 広告情報の登録方法

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 コンピュータシステムにより、広告依頼者から要求された広告情報の登録を行う広告情報の登録方法において、煩わしさ及び広告意欲を阻害することなく、登録された広告情報を変更・更新できるようにする。

【解決手段】 ネットワークを介して広告依頼者の端末101とサーバ10とを接続し、広告依頼者が端末101から入力した広告情報をサーバ10に転送して、広告情報を登録する広告情報の登録方法において、広告依頼者は、サーバ10から供給される店舗情報入力画面とは関係なく、端末101のエディタ機能により、広告情報に関する更新情報を更新予定日時情報をとともに作成送信する。サーバ10は、指定された更新予定日時に広告情報を更新する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータシステムにより広告依頼者から要求された広告情報の登録を行う広告情報の登録方法において、広告依頼者から要求された広告情報に関する更新情報と、予め記憶されている広告情報を比較する段階と、この比較結果に基づき、前記記憶されている広告情報を変更する段階とを備えることを特徴とする広告情報の登録方法。

【請求項2】 前記広告情報は、複数の項目からなる情報であって、前記更新情報は、前記項目に対応するよう構成されることを特徴とする請求項1に記載の広告情報の登録方法。

【請求項3】 予め計時手段を備え、

前記更新情報は、広告情報の更新予定日時情報を含み、この計時手段が示す日時と、前記更新予定日時情報を比較する段階と、この比較結果が一致したとき、記憶されている広告情報を変更する段階とを備えることを特徴とする請求項1または2のいずれかに記載の広告情報の登録方法。

【請求項4】 前記更新情報は、前記記憶されている広告情報に基づく表示とは無関係に作成されたものであることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載の広告情報の登録方法。

【請求項5】 前記更新情報は、ネットワークを通して送信されてくるものであることを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の広告情報の登録方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、コンピュータシステムを用いた広告情報の登録方法に関わり、特に、登録された広告情報を変更・更新するときの作業負荷の軽減を図ることが可能な広告情報の登録方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より、印刷物（出版物、イラストマップなど）等を用いて、地図上に商店等の位置を掲載し、併せて、商店等の広告内容を別欄・別頁に掲載して、当該商店等の広告を行なうことは知られている。また、これらの情報を記憶媒体（CD-ROM、フロッピィディスクなど）に記憶させて、市場に流通させ、コンピュータシステムの端末に表示させて広告を行なうことも知られている。さらに、また、テレビ、ラジオ等の一方向メディアにより、視聴者、聴取者に対して広告を行なうことも知られている。

【0003】 ところが、印刷物や記憶媒体を用いて広告を行なう方法では、広告依頼から実際に印刷物・記憶媒体が頒布・流通するまでの期間において、数週間から数カ月程度のタイムラグが生じ、このため、情報としての新規性・信頼性等が失われやすい、という問題がある。

例えば、広告依頼時には、通常通り営業をしていた商店が、実際に印刷物が頒布された時点では、営業を取り止めてしまっている場合がある。かかる場合、当該印刷物全体に対して信頼性が低下し、広告供給者への不信感を招くばかりでなく、広告を受ける消費者等の側にも混乱が発生するという問題がある。

【0004】 また、一方向メディアでは、新規性や信頼性について、ある程度は確保できるものの、視聴者・聴取者の反応が得にくいといった問題や、広告料が概して10高価であり、手続的にも複雑であるため、小規模な事業形態の広告依頼者では広告が出し難いといった問題もある。

【0005】 そこで、本発明者等は、特願平7-179227号において、広告依頼者が予めインターネット等の通信ネットワークを介してサーバに登録した広告情報を、広告を受ける消費者等が同じく通信ネットワークを介してサーバにアクセスして参照するとともに該広告情報ファイルに感想等のメッセージを書き込むことを可能にする広告情報の供給方法およびそのための登録方法を20提案した。この方法によれば、広告記載依頼から実際の広告頒布までのタイムラグを短くすることができ、さらに広告の効果がわかりやすいという利点がある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記出願に開示した広告情報の登録方法においては、一旦登録した広告情報を変更する場合、新規登録時と同様、端末をサーバに接続し、サーバから供給される入力画面に沿って対話的に更新入力を行わなければならない。したがって、端末操作者が更新入力を行うには、複数ある項目のうちごく少数（例えば、1箇所）の変更であっても、複数箇所の変更であっても、同じように入力画面に沿つて行わなければならず、非常に煩わしい。特に、広告内容を頻繁に変更したい場合（例えば、3日毎や毎週等）などは、煩わしさが付きまとばかりでなく、作業負荷が大きくなるため広告依頼者の広告意欲そのものを阻害してしまうという問題があった。

【0007】 本発明は、上述した問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、コンピュータシステムにより広告依頼者から要求された広告情報の登録を行う広告情報の登録方法において、煩わしさや広告依頼者の広告意欲を阻害することなく登録された広告情報を変更・更新等することができる広告情報の登録方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】 上述した問題を解決するために、請求項1に記載の発明にあっては、コンピュータシステムにより広告依頼者から要求された広告情報の登録を行う広告情報の登録方法において、広告依頼者から要求された広告情報に関する更新情報と、予め記憶されている広告情報を比較する段階と、この比較結果に基50

づき、前記記憶されている広告情報を変更する段階とを備えることを特徴としている。

【0009】また、請求項2に記載の発明にあっては、請求項1に記載の発明において、前記広告情報は、複数の項目からなる情報であって、前記更新情報は、前記項目に対応するよう構成されていることを特徴としている。

【0010】また、請求項3に記載の発明にあっては、請求項1または2のいずれかに記載の発明において、予め計時手段を備え、前記更新情報は、広告情報の更新予定日時情報を含み、この計時手段が示す日時と、前記更新予定日時情報を比較する段階と、この比較結果が一致したとき、記憶されている広告情報を変更する段階とを備えることを特徴としている。

【0011】また、請求項4に記載の発明にあっては、請求項1ないし3のいずれかに記載の発明において、前記更新情報は、前記記憶されている広告情報に基づく表示とは無関係に作成されたものであることを特徴としている。

【0012】また、請求項5に記載の発明にあっては、請求項1ないし4のいずれかに記載の発明において、前記更新情報は、ネットワークを通して送信されてくるものであることを特徴としている。

【0013】

【発明の実施の形態】まず、本発明の実施形態の説明をする前に、本願発明の位置付けを説明する。広告とは、ある者がその者の商品・サービス等に関し、その消費者等に成り得る者に対して宣伝等を行なうことであるが、その情報の提供は、第三者を介して行なわれることもある。本願発明は、このような「第三者」に相当する部分である。次に、このような本願の位置付けを考慮して、以下の説明で使用する字句等の意味が定められる。例えば、以下の説明では、広告情報を提供する者、すなわち広告をしたい者を「広告依頼者」とし、広告情報の提供を受ける者、すなわち消費者等に成り得る者を「広告受給者」としている。ここで「広告依頼者」を「広告提供者」としなかったのは、「広告受給者」から見れば、本願発明も「広告依頼者」も同じ「広告提供者」となって、混同を生じるおそれがあるからである。

【0014】1：全体構成

以下、本発明における一実施形態について図面を参照して説明する。図1は、本実施形態の構成を示すブロック図である。この図において、符号10はサーバであり、経路制御装置、電話回線を経由してインターネットNET1および電子メールシステムNET2に接続されている。符号101、102、…は各種の端末であり、サーバ10と同様にしてインターネットNET1および電子メールシステムNET2に接続される。ここで、端末101、102、…は、それぞれ電子メール作成用の文書編集機能を備え、CPUやメモリの他、CRTやLCD

等の表示部、およびキーボード、マウス等の入力部を有している。また、電子メールシステムNET2には、サーバ10と各端末101、102、…の間で電子メールの授受を管理するメールサーバ20が接続されている。

【0015】1-1：サーバの構成

次に、サーバ10の詳細構成について説明する。図2は、サーバ10の構成を示すブロック図である。この図において、符号11は制御手段であり、CPU等から構成され、各部の制御や、データの転送、種々の演算、データの一時的な格納等を行なう。符号12は入力制御手段であり、インターネットNET1を介して接続された端末または電子メールシステムNET2のメールサーバ20から入力されるデータを制御する。符号13は出力制御手段であり、端末またはメールサーバ20に出力されるデータを制御する。符号14～18はいずれも記憶手段であり、それぞれ以下のファイルが格納、記憶されている。

【0016】まず、記憶手段14には、メインプログラムが記憶されている。かかるメインプログラムは、制御手段11において用いられるものであり、例えば、端末の表示部に案内画面を表示させるプログラムや、地図上に所望とする業種の店舗のみを表示させる仮想マーケット用プログラム、文字検索により必要な情報を得るために検索用プログラム、端末から送信される更新情報に基づき登録情報を更新する更新用プログラム等から構成される。他に、この記憶手段14には、端末101、102、…から送信してきた広告に関する感想等の情報が一時的に格納される。なお、これらの動作については、いずれも後述する。次に、記憶手段15には、地図ファイルが記憶されている。本実施形態における地図ファイルは、3層の階層構造であって、上層は日本地図であり、中層は都道府県別の地図であり、下層は区分（例えば、市町村単位、繁華街単位）地図である。なお、各層の地図は、いずれもピットマップ形式である。記憶手段16には、キャラクタファイルが記憶されている。かかるキャラクタファイルは、表示用文字データや、アイコンのピットマップデータ等から構成されており、後述する動作の際に参照されるようになっている。なお、アイコンのピットマップデータは、それぞれ業種毎に異なつて記憶されている。そして、記憶手段17には、顧客ファイルが記憶されている。かかる顧客ファイルは、店登録番号毎に作成されるものであり、1つの店登録番号に対応する顧客ファイルは、登録者ID、パスワード、店舗情報、(x, y)情報等のように店舗固有の情報から構成される。このうち、店舗情報は、さらに店名や、電話番号、ファックス番号、(最寄り駅から店舗までの)行程、店舗の業種を示す業種情報、(他の情報と結びつける場合に、参照すべきネットワーク上の情報の行先を示す)リンク情報、(広告の内容を示す)広告メッセージ等のように、広告対象の店舗に関する種々の情報から

構成される。本願の広告情報とは、狭義では広告メッセージを指すが、広義には、店舗情報よりも上位であつて、顧客ファイル作成に必要な情報のすべてを指す。なお、店登録番号は、端末からの登録があった場合に、制御手段11により自動的に付与されるものである。また、(x, y)情報とは、店舗の位置が、ピットマップ形式の地図ファイルにおいてどの地点(座標)であるかを示す情報である。さらに、記憶手段18には、更新情報ファイルが記憶されている。かかる更新情報ファイルには、端末から送信されてくる更新情報が記憶されている。この更新情報は、店登録番号、登録者ID、パスワード、更新予定日時のように店舗固有の情報とともに、店名、席数、予約、代表的メニューのような業種毎に異なる更新情報項目から構成される。この更新情報に基づき、記憶手段17に記憶されている顧客ファイルが更新される。

【0017】次に、符号19はタイマであり、絶えず計時動作を行っている。このタイマ19が計時する現在時刻(日時)は、制御手段11によって定期的に参照され、更新情報ファイルに記述された更新予定日時と比較される。そして、これらの日時が一致することにより、更新用プログラムが起動され、顧客ファイルが更新されるようになっている。

【0018】2:動作説明

次に、本実施形態の動作について説明する。ここで、端末101、102、…は、それぞれサーバ10と接続されて通信を行ない、いずれも広告依頼者の端末としても、広告受給者の端末としても機能するが、説明便宜上、第2の方法による更新(後述する)の場合を除き、サーバ10にはインターネットNET1を介して端末101が接続されたとして、以下の説明を行なう。なお、第2の方法による更新では、端末101は電子メールシステムNET2に接続される。

【0019】2-1:新規登録

まず顧客ファイルの作成過程である新規登録について説明する。サーバ10に端末101が接続されると、制御手段11は、この接続を入力制御手段12を介して検知し、メインプログラムにしたがって端末101を制御する。図3および図4は、かかるメインプログラムの動作を示すフローチャートである。この場合、端末操作者が新規広告依頼者(あるいはその代理人)であるとする。まず、図3に示したステップSa1において、制御手段11は、端末101の表示部に対し、図5に示すようなメインメニュー画面を表示させ、端末操作者に対して、本実施形態の処理である「地図」、「仮想マーケット」、「検索」、および「登録」の中から所望する処理を選択するように促す。かかる、メインメニュー画面においては、マウスカーソルMCが表示され、所定の場所をクリックすることにより、種々の操作を行なえるようになっている。例えば、ボタン211～214のいずれか

の表示領域に、マウスカーソルMCを位置させてクリックすれば、当該表示領域で示された処理が行なわれ、また、三角形状のボタン22U、22D、22L、22Rの表示領域に、マウスカーソルMCを位置させてクリックすれば、当該三角形の頂点で定まる長方形形状の表示エリアが、それぞれ上、下、左、右にスクロールするようになっている。

【0020】ここでは、端末操作者は、マウスカーソルMCをボタン214の表示領域に位置させた後、クリック操作を行なって「登録」の処理を選択する。すると、これを検知した制御手段11は、手順を図4に示したステップSb1に進ませて、端末101の表示部に対し、図6に示すような登録メニュー画面を表示させるように制御する。なお、この登録メニュー画面においては所定の操作により、メインメニュー画面(ステップSa1)に戻ることができるようになっている。また、以下のステップSb2～Sb15では、所定の操作によって、いつでも、この登録メニュー画面に戻ることができるようになっている。さて、この登録メニュー画面には、「新規登録」、「既登録の更新」、「既登録の削除」の各処理に対応するチェックボタン231～233が示されて、端末操作者に対し、いずれかの処理を選択するように促される。これに対応して、端末操作者は、「新規登録」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン231の表示領域に位置させてクリックし、次に入力ボックス242の表示領域に位置させてクリックした後、入力部により登録者IDを入力する。この後、同様に、端末操作者は、マウスカーソルMCを入力ボックス243の表示領域に位置させてクリックした後、入力部

によりパスワードを入力する。そして、これらの操作が完了すると、端末操作者は、その旨をサーバ10側に伝えるべく、マウスカーソルMCをボタン25の表示領域に位置させてクリックする。

【0021】かかる操作により、手順がステップSb2に進み、制御手段11は、重複登録を避けるべく、入力された登録者IDとパスワードとがすでに使用されているか否かについて、すでに作成した顧客ファイルを検索することによりチェックする。ここで、制御手段11は、すでにこれらが使用されていると判定すれば、手順をステップSb15に進ませ、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」を旨を表示させる制御をした後、手順をステップSb1に戻して再び登録メニュー画面を表示させる。一方、制御手段11は、使用されていないと判定すれば、次のステップSb3の処理を行なう。

【0022】ステップSb3において、制御手段11は、端末101に対して、図7に示す位置指定画面を表示させる制御を行なって、端末操作者に対し、広告すべき店舗の位置指定を促す。ここで、表示される地図は、記憶手段15に記憶された地図ファイルに基づくもので

ある。なお、図7に示すものは、東京都千代田区神田界隈（秋葉原駅周辺）を示す下層の区分地図である。端末操作者は、表示された地図上において、広告の対象となる店舗の位置を、マウスカーソルMCにより指してクリックする。すると、制御手段11は、この地図を示すコードと、この地図上において指定された位置の座標を示す(x, y)情報を求めて、これらの情報を一旦格納した後に、次のステップSb4の処理を行なう。

【0023】ステップSb4において、制御手段11は、端末101に対して、図8～図10に示す店舗情報入力画面を表示させる制御を行なって、端末操作者に対し、店舗情報の入力を促す。なお、図8～図10に示した店舗情報入力画面は、別個の画面ではなく、ボタン22Uまたは22Dにより上下スクロールする連続画面である。端末操作者は、かかる店舗情報入力画面において、各入力ボックス261～2611に、マウスカーソルMCや入力部等を用いて必要な情報を入力を行なうとともに、ボタン271～273を用いて所定の項目を選択する。ここで、ボタン271～273は、いずれもプルダウンメニューを表示させるボタンであり、ここにマウスカーソルMCを合わせて、マウスボタンを押下すると複数の項目が表われ、押下した状態を保ったまま該当する項目に合わせてマウスボタンを離すと、当該項目が選択されるようになっている。例えば、ボタン271にマウスカーソルMCを合わせて、マウスボタンを押下すると、デパートの他に種々の業種が表示され、押下した状態を保ったまま、該当する項目にマウスカーソルMCを合わせて、マウスボタンを離すと、その時点の項目が入力値として選択される。なお、ボタン272は、入力ボックス267に入力された広告メッセージをHTML(Hyper Text Make up Language)で記述したか、純粹なテキスト形式で記述したかを選択するボタンである。また、ボタン273に対応する「フォローシートの転送」とは、後述する広告案内において、広告受給者からのメッセージ(フォローシート)を、広告依頼者に転送することをいう。すなわち、ボタン273により、広告受給者からのフォローシートを広告依頼者に転送するか否かが、さらに転送する場合にはその頻度についても選択されるようになっている。このようにして、端末操作者が、必要な情報を入力し終わると、ボタン281をマウスでクリックする。なお、入力した情報をクリアにする場合には、ボタン282を押下する。

【0024】ボタン281が押下されると、制御手段11は手順をステップSb5に進ませ、入力された店舗情報を、端末101の表示部に表示させて、その内容の確認を端末操作者に促す。この際、端末操作者が、店舗情報の再入力を行なうのであれば、所定の操作を行なう。これにより、制御手段11の制御によって先の店舗情報入力画面に戻る一方、店舗情報に誤りがなければ、手順はステップSb6に進む。ステップSb6において制御

手段11は、端末101の表示部に対し、「登録しました」旨の表示を行なうとともに、登録メニュー画面、位置指定画面および店舗情報入力画面において入力された情報を、1つの顧客ファイルとして、特に、店舗情報入力画面において入力された情報については店舗情報として記憶手段17に格納する。この際に付与された店登録番号は、制御手段11の制御により端末101の表示部に表示されて、端末操作者に告知される。この後、制御手段11は、手順をステップSb1の登録メニュー画面表示に戻す。このようにして、新規の広告依頼主が行なった入力に対して1つの顧客ファイルが作成される。

【0025】2-2: 変更

ところで、広告依頼主にとっては、登録して顧客ファイルが作成された後、時間経過とともに、広告内容の変更等したい場合が生じる。かかる場合に、本実施形態では、2通りの方法によって顧客ファイルを変更することが可能である。第1の方法は、インターネットNET1を介して端末をサーバ10に接続し、図5に示した登録メニュー画面を立ち上げて更新処理を行う方法である。

一方、第2の方法は、図5に示した登録メニュー画面を用いて更新情報を作成し、サーバ10に送信する方法である。以下、これらの方法を分けて説明する。

【0026】(1) 第1の方法

この方法では、上記新規登録の場合と同様、端末101はインターネットNET1を介してサーバ10に接続される。そして、広告依頼者たる端末操作者は、図4に示したステップSb1の登録メニュー画面において、「既登録の変更」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン232をクリックした後、入力ボックス241～243に、店登録番号、登録者ID、パスワードをそれぞれ入力し、ボタン25をマウスでクリックする。

【0027】かかる操作により、制御手段11は、手順をステップSb7に進ませ、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルの登録者IDとパスワードとが、入力された登録者IDとパスワードとに、それぞれ一致するかをチェックする。ここで、制御手段11は、一致していないと判定すれば、ステップSb15に進んで、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」旨を表示させる制御をした後、ステップSb1に戻して再び登録メニューを表示させる。一方、制御手段11は、一致していると判定すれば、次のステップSb8の処理を行なう。

【0028】ステップSb8において制御手段11は、図8～図10に示した店舗情報入力画面を表示し、さらに、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルを読み出して、該当する各入力ボックス261～2611およびボタン271～273を、当該顧客ファイルに対応した情報表示とさせる。これにより修正前の顧客ファイルに対応する店舗情報入力画面が復元される。そして、端末

操作者は、店舗情報のうち所望する箇所を修正・変更した後、ボタン281をマウスによりクリックする。すると制御手段11は、手順をステップSb9に進ませる。ステップSb9において制御手段11は、変更された店舗情報を、端末101の表示部に表示させて、その内容の確認を端末操作者に促す。この際、新規登録時と同様に、端末操作者が、店舗情報の再入力を行なうのであれば、所定の操作を行なう。これにより制御手段11の制御によって先の店舗情報入力画面に戻る一方、店舗情報に誤りがなければ、手順はステップSb10に進む。ステップSb10において制御手段11は、端末101の表示部に対し、「修正しました」旨の表示を行なうとともに、修正された店舗情報を、修正前と同じ店登録番号の顧客ファイルとして記憶手段17に格納し直す。そして、この後、制御手段11は、手順をステップSb1の登録メニュー画面表示に戻す。

【0029】(2) 第2の方法

次に、第2の方法について説明する。上記第1の方法では、広告内容の変更が必要となる度に端末101をサーバ10に接続し、サーバ10から供給される店舗情報入力画面(図8～図10)において、顧客ファイルの記憶内容を表示させて、表示された内容に沿って対話的に所望箇所を修正・変更していた。ところが、この第1の方法では、店舗情報入力画面に従って入力する必要があるため、更新情報の入力に煩わしさが付きまとってしまう。特に、広告内容を頻繁(例えば、3日毎や毎週等)に変更したい場合などは、煩わしさが付きまとばかりでなく、作業負荷が大きくなるため広告依頼者の広告意欲そのものを阻害してしまうことにもなりかねない。さらには、サーバ10から供給される店舗情報入力画面に沿って対話的に入力を行っているので、修正・変更している間は、常にサーバ10との回線が接続状態になっているため、入力時間に応じた通信コストがかかってしまう。そこで、第2の方法では、以下のようにサーバ10から供給される店舗情報入力画面とは関係なく顧客ファイルの内容が変更できるようになっている。

【0030】すなわち、広告依頼者たる端末操作者は、端末101において電子メール作成用エディタを起動し、店舗情報入力画面とは関係なく広告の更新後の内容である更新情報を入力する。この更新情報の入力は、サーバ10から予め送信されて端末101に記憶された入力フォーマットに従って行われる。

【0031】この入力フォーマットは、広告依頼者の営む業種によって異なるが、例えば「飲食店」の場合、図11に示すように、店登録番号、登録者ID、パスワードおよび更新予定日時からなるヘッダ項目と、店名、席数、予約、代表的メニュー等の飲食店に特有の顧客情報項目とからなっている。ただし、ヘッダ項目は各業種について共通であり、顧客情報項目のみ業種によって異なっている。例えば、「文化施設」の場合、図12に示す

ように、施設／設備、内容、料金等の顧客情報項目からなり、「小売業」の場合、図13に示すように、期間、利用可能なクレジットカード、目玉商品等の顧客情報項目からなっている。

【0032】端末操作者は、エディタに表示された入力フォーマットの各項目名の末尾に付けられた「:」マークに続けて、以下のように入力操作を行う。まず、店登録番号、登録者IDおよびパスワードについては必須入力項目であるからこれらを全て入力する。次に、更新予定日時については、顧客ファイルを更新する日時を特に指定しない場合には「:」マーク以下を空欄にしておくが、更新日時を指定したい場合にはその日時を例えば「1995.12.25.06:00」のように入力する。さらに、顧客情報項目については、変更する必要がある項目についてのみ変更後の広告内容を示す文字列を入力する。一方、変更する必要のない項目については「:」マーク以下を空欄にしておく。

【0033】こうして入力が終了した後、端末操作者は、更新情報を電子メールとしてメールサーバ20へ送信する。一方、メールサーバ20では、送信されてきた電子メールをこのメールサーバ20内のサーバ10に対して割り当てられたメールボックスに更新情報として記憶する

【0034】一方、サーバ10は、定期的にメールサーバ20にアクセスしており、自己のメールボックスに更新情報が記憶されていれば、これを読み出し、当該更新情報を記憶手段18に更新情報ファイルとして記憶する。そして、更新情報ファイルに記述された更新予定日時の項目を参照し、その項目が空欄であれば、直ちに更新プログラムを起動し、当該更新情報ファイルに基づき記憶手段17に記憶された顧客ファイルを更新する。すなわち、更新情報ファイルに記述されたヘッダ項目から対応する顧客ファイルを検索し、更新情報ファイルの顧客情報項目の各項目に従って対応する顧客ファイルの顧客情報を変更する。

【0035】一方、更新予定日時の項目に、例えば「1995.12.25.06:00」のように日付が指定されていれば、この指定された日時とタイマ19によって計時されている日時とを定期的に比較し、両者が一致する1995年12月25日午前6時に、上記と同様、更新用プログラムを起動して顧客ファイルを更新する。

【0036】このように、第2の方法によれば、サーバ10から供給される店舗情報入力画面とは関係なく変更情報を作成できるので、第1の方法と比べて煩わしさがない。さらには、常にサーバ10との回線が接続状態になっている必要はないため、通信コストを削減することが可能となる。

【0037】また、更新情報として更新日時を書き込むことにより所望とする日時に広告内容を更新することができる。これにより、頻繁に広告内容を変更したい場合

であっても、例えば週の始めなどに複数回分の変更に対応する複数の更新情報を示すメール作成し送信すれば、サーバ10は各更新情報で指定された日時に順次更新することができる。よって、広告依頼者の作業負荷が軽減され、広告意欲を阻害することがなくなる。

【0038】2-3：削除

さて、広告依頼主にとっては、登録して顧客ファイルが作成された後、時間経過とともに、諸般の事情により広告の廃止等を望む場合がある。かかる場合に、広告依頼者たる端末操作者は、図5に示したステップSb1の登録メニューにおいて、「既登録の削除」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン233をクリックした後、入力ボックス241～243に、店登録番号、登録者ID、パスワードをそれぞれ入力し、ボタン25をマウスでクリックする。かかる操作により、制御手段11は、手順をステップSb11に進ませ、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルの登録者IDとパスワードとが、入力された登録者IDとパスワードとに、それぞれ一致するかをチェックする。ここで、制御手段11は、一致していないと判定すれば、ステップSb15に進んで、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」旨を表示させる制御をした後、手順をステップSb1に戻して再び登録メニューを表示させる。一方、制御手段11は、一致していると判定すれば、次のステップSb12の処理を行なう。

【0039】ステップSb12において制御手段11は、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルを読み出し、当該ファイルに対応する店舗情報を端末101の表示部に表示させて、端末操作者に対し、削除すべき顧客ファイルの内容を確認させる。それが誤りであれば、手順がステップSb1の登録メニュー画面表示に戻る一方、削除するのであれば、ステップSb13に進んで、制御手段11は、端末101の表示部に「本当に削除します」旨表示して、当該顧客ファイルの削除を再確認させる。この段階で削除しないのであれば、手順がステップSb1の登録メニュー画面表示に戻る一方、本当に削除するのであれば、ステップSb14に進んで、制御手段11は、当該顧客ファイルの削除とともに、端末101の表示部に「削除しました」旨表示する。そして、この後、手順は、ステップSb1の登録メニュー画面表示に戻るようになっている。

【0040】このように、顧客ファイルは、広告依頼者の操作により容易に登録、変更、削除が可能であるので、常に、新鮮な店舗情報を保つことが可能であり、また、その変更・削除の際には、店登録番号、登録者IDおよびパスワードが求められるので、セキュリティも保たれる。以上は、1つの顧客ファイルについて述べたが、他の端末や異なる広告依頼者からも、顧客ファイルの作成が可能であるため、様々な業種の顧客ファイルや、広範囲にまたがる顧客ファイルが次第に蓄積される

こととなる。

【0041】2-4：広告の受給

次に、顧客ファイルに基づいて、いかにして広告が行なわれるかについて説明する。この場合も、登録時と同様に、説明の便宜上、サーバ10には端末101が接続されたとして説明を行なう。なお、サーバ10に端末101が接続されてから、図3に示したステップSa1の処理（メインメニュー画面の表示）までの過程は、登録時と同様であるので、かかる過程の説明については省略する。さて、本実施形態における広告の受給は、広告受給者たる端末操作者に対して「地図」、「仮想マーケット」、「検索」の3機能により行なうことを想定している。このうち「地図」は、主に地域的な面から店舗を検索し、また、「仮想マーケット」は、主に業種の面から店舗を検索し、「検索」は、顧客ファイルの文字列を検索して、それぞれ該当する店舗の情報を供給して、広告を行なうものである。

【0042】2-4-1：地図

まず、「地図」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図3に示したステップSa1のメインメニュー画面（図5参照）において、「地図」のボタン211をクリックする。すると、制御手段11は、手順をステップSa2に進ませ、上層の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく日本地図とともに、地域的な限定をするように促すメッセージを表示させる制御を行なう。このときに端末101の表示部に表示される画面を図14に示す。

【0043】ここで、端末操作者は、例えば、表示地図上の東京にマウスカーソルMCを合わせてクリックしたとする。すると制御手段11は、手順をステップSa3に進ませて、中層の地図ファイルのうち、位置指定された東京の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく東京都近郊の地図とともに、さらに、地域的な限定をするように促すメッセージを表示させる制御を行なう。このときに端末101の表示部に表示される画面を図15に示す。この画面に対し、端末操作者は、表示地図上の「秋葉原周辺」にマウスカーソルMCを合わせてクリックしたすると、手順は次のステップSa4に進む。

【0044】ステップSa4において制御手段11は、まず、下層の地図ファイルのうち、位置指定された秋葉原近郊の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく秋葉原近郊の地図を表示させる。次に、制御手段11は、記憶手段17に格納された顧客ファイルのうち、地図コードが、先に読み出された秋葉原近郊の地図ファイルを示すものを検索して抽出する。そして、制御手段11は、抽出された顧客ファイルの(x, y)情報を読み出し、その情報で示される座標位置に、業種情報に対応するアイコン

を、必要であればその店名とともに、表示した地図に上書きして表示させる。なお、かかる上書き表示は、抽出した顧客ファイルのすべてに対応して行なわれる。また、アイコンのピットマップデータは、業種情報に対応するものが記憶手段16から読み出される。このときに端末101の表示部に表示される画面を図16に示す。なお、かかる表示画面に示されるメッセージ中、アンダーラインが付されている文字部分をマウスクリックすることにより、表示された地図およびアイコンが、当該メッセージで示される方向にスクロール移動するようになっている。かかる制御も制御手段11が行なっている。また、この表示画面のボタン31をマウスでクリックすれば、前述したステップSb1の登録メニュー画面表示に移行し、また、所定の操作により後述するステップSa8にも移行することができるようになっている。

【0045】さて、端末操作者は、かかる画面にアイコン化されている店舗情報を欲する場合には、そのアイコンをマウスによりクリックする。例えば、当該画面には、先に登録動作で説明した「〇〇デパート」が、指定された位置にアイコン化されて表示されているが、端末操作者は、この「〇〇デパート」の詳細情報を欲する場合、同図に示すように「〇〇デパート」のアイコンにマウスカーソルを合わせてクリックする。かかる操作により制御手段11は、手順をステップSa5に進ませ、地図上でクリックされた座標を検出し、この座標に一致する、あるいは最も近傍の(x, y)情報を有する顧客ファイルを検索して見つけ、さらに、当該顧客ファイルの店舗情報を読み出して、端末101の表示部に表示させる。かかる動作により、例えば、クリックしたアイコンが「〇〇デパート」であれば、この顧客ファイルが検索されて、図17に示したように、先に広告依頼人が店舗情報入力画面により入力した店舗情報が表示される。

【0046】このように、広告受給者たる端末操作者は、表示部に表示された地図と、その地図上に重ねられたアイコンとを見ながら、アイコンをクリックするのみにより、そのアイコン化された店舗の情報を得ることができる。一方、この店舗情報は、広告依頼者のみにより容易に修正可能である。したがって、かかる実施形態によれば、広告記載依頼から実際の広告頒布までのタイムラグを短くすることができ、しかも、広告情報の信頼性を保つこともできるのである。

【0047】さて、図17に示した画面には、クリックされたアイコンの店舗情報のほかに、その店舗情報を見た広告受給者自身が記入する画面が連続している。この画面を図18および図19に示す。これらの図に示すように、記入画面には、広告受給者自身に関する事項や、通信環境等の事項等を記入するための入力ボックス321～325、それらの事項をプルダウン形式で選択させるボタン331～334、および店舗情報の感想・意見を記入する入力ボックス34が設けられる。そして、この画

面にしたがって入力された情報は、広告受給者たる端末操作者がボタン352をマウスクリックすれば消去される一方、端末操作者がボタン351をマウスクリックすればサーバ10に送信されるようになっている。そして、サーバ10に送信された情報は、制御手段11によって、その日付時刻および店登録番号と関連づけられて記憶手段14にフォローシートとして蓄積される。なお、広告受給者にとって、これらの事項を入力するのは義務ではなく任意である。そして、広告依頼者がボタン10351を押下、あるいは所定の操作をすることにより、制御手段11は、手順をステップSa1のメインメニュー画面表示に戻す。

【0048】ところで、蓄積された情報は、図10に示した画面におけるボタン273により設定された状態にしたがって広告依頼者に転送される。例えば、ある広告依頼者が1週間に1度の頻度で転送を希望する旨が設定されているのであれば、サーバ10内の制御手段11は、その広告依頼者の店登録番号に関連づけられて蓄積された情報であって、一週間以内に送信された情報を検索して抽出し、抽出された情報をFAXでまとめて転送する。この場合、転送作業は、一週間毎に行なわれ、その際のFAX番号は、店登録番号の顧客ファイルに対応するものである。なお、広告依頼者がフォローシートの転送を希望しない旨の設定がされているのであれば、制御手段11は、広告受給者からの情報を受信しても不要なのでこれを破棄する。

【0049】このように、広告依頼者には、その広告情報を見た広告受給者からの反応や感想などが、直接に、しかも設定によっては迅速に伝えることができる。したがって、本実施形態によれば、店舗情報の供給が、従来における広告依頼者から広告受給者への一方向的のみならず、広告受給者から広告依頼者への方向でも行なわれる所以、広告依頼者は、その広告受給者の反応や、感想を考慮しながら、広告や営業活動を行なうことが可能となる。

【0050】2-4-2：仮想マーケット
次に、「仮想マーケット」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図3に示したステップSa1のメインメニュー画面（図5参照）において、「仮想マーケット」のボタン212をクリックする。すると、制御手段11は、手順をステップSa6に進ませ、端末101の表示部に、図20に示すような仮想マーケットメニュー画面を表示させる制御を行なう。なお、このステップSa6に進行する段階では、下層の区分地図がなんらかの方法により、例えばステップSa2～Sa3により、位置指定されているものとする。この画面において、符号411～414はチェックボックスであり、それぞれ、この表示領域をマウスでクリックすれば「×」が表示されて、該当する業種が選択されたことを示す一方、「×」が表示されているチェックボック

ス411～414をマウスでもう1回クリックすれば「×」が消えて、該当する業種の選択が解除されるようになっている。そして、これらチェックボックス411～414には、本実施形態で想定している業種がそれぞれ対応している。また、これらチェックボックス411～414の下欄には、想定している業種項目がアンダーラインが付された状態で表示されている。

【0051】ここで、端末操作者は、これらのアンダーラインが付された業種のうち、所望のものをマウスクリックすると、これを検出した制御手段11が、手順をステップSa7に進める。このステップSa7において、制御手段11は、記憶手段17に格納されている顧客ファイルのなかから、店舗情報の業種が、クリックされた業種と一致するものを検索して抽出し、抽出した顧客ファイルの店名リストを、端末101の表示部に表示させる。例えば、仮想マーケットメニュー画面において、図20に示すように、「デパート、百貨店」がマウスカーソルMC1でクリックされたのであれば、制御手段11は、店舗情報の業種がデパートあるいは百貨店である顧客ファイルを抽出し、抽出した顧客ファイルすべての店名を、図21に示すように、接続端末の表示部に表示させるのである。

【0052】さて、図21に示す画面では、抽出された顧客ファイルの店名リストとともに、広告の掲載、更新、削除を行なうことを指定するボタン42が表示されている。このボタン42をマウスクリックすれば、これを検出した制御手段11が、手順を上述したステップSb1にスキップさせて登録メニュー画面を端末101の表示部に表示させる。また、図21に示す画面において表示されている店名のいずれかをマウスクリックすれば、これを検出した制御手段11が、手順を上述したステップSa5にスキップさせて、クリックされた店名の店舗情報を表示した画面とともに、広告受給者自身が記入する画面（図17～図19参照）を表示させる。さらに、図21に示す画面では、アンダーラインの付された「地図」の文字も表示されている。この文字部分を、マウスクリックすれば、これを検出した制御手段11が、手順をステップSa8にスキップさせる。

【0053】このステップSa8において制御手段11は、現時点において指定されている下層の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく地図を表示させる。次に、制御手段11は、抽出された顧客ファイルの（x、y）情報を読み出し、その情報で示される座標位置に、業種情報に応するアイコンを、必要であればその店名とともに、表示した地図に上書きして表示させる。なお、かかる上書き表示は、抽出した顧客ファイルのすべてに対応して行なわれる。このときに端末101の表示部に表示される画面を図22に示す。この際に表示される地図には、図16に示した画面の地図とは異なり、マウスクリック

した業種に相当する1種類のアイコンのみが表示される。例えば、図20に示した画面（ステップSa6）において「デパート、百貨店」がマウスクリックされたのであれば、図22に示すように「デパート、百貨店」のアイコンだけが表示される。

【0054】次に、図20に示したチェックボックス411～414を用いた検索動作について説明する。端末操作者が所望の業種をチェックして、「地図」の文字部分をマウスクリックすると、制御手段11は次の動作を行なう。まず、制御手段11は、現時点において指定されている下層の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく地図を表示させる。次に、制御手段11は、チェックボックス411～414により選択された業種と一致する顧客ファイルを検索して抽出する。そして、制御手段11は、抽出された顧客ファイルの（x、y）情報を読み出し、その情報で示される座標位置に、業種情報に対応するアイコンを、必要であればその店名とともに、表示した地図に上書きして表示させる。なお、かかる上書き表示は、抽出した顧客ファイルのすべてに対応して行なわれる。このときに端末101の表示部に表示される画面を図23に示す。この際に表示される地図には、図22に示した画面の地図とは異なり、チェックボックスで選択された業種に相当するアイコンが表示される。例えば、図20に示した画面（ステップSa6）において「デパート、百貨店」、「郵便局」、「その他」が選択されたのであれば、図23に示すように、「デパート、百貨店」、だけではなく、「郵便局」、「その他」を示すアイコンも表示される。

【0055】なお、端末操作者が図22および図23に示した各画面に対して所定の操作を行なうと、制御手段11は、当該地図に対応するすべての業種のアイコンを表示した画面（図16、ステップSa4）にスキップするようになっている。また、これらの各画面において地図上で表示されるアイコンの業種は、図16に示したものとは異なるが、それ以外の点、例えば、表示されたアイコンをマウスクリックすると、その店舗の広告情報が表示される点などは同じである。すなわち、この場合に制御手段11は、手順をステップSa5に進ませて、地図上でクリックされた座標を検出し、この座標に一致する、あるいは最も近傍の（x、y）情報を有する顧客ファイルを検索して見つけ、さらに、当該顧客ファイルの店舗情報を読み出して、端末101の表示部に表示させる。

【0056】このように、「仮想マーケット」では、広告受給者たる端末操作者が、所望とする1以上の業種のみを検索することができる。また、ある地図内に含まれる顧客ファイルが少ない場合は、アイコンも表示される個数が少なく、見やすいという点では結構なのであるが、本実施形態では、時間経過とともに、当該地図内に

含まれる顧客ファイルが増加する場合が考えられる。このような場合、同一地図内に表示されるアイコンを、すべての業種にわたって表示するのみの構成とすると、アイコンが多くなって、最悪、重なってしまって、非常に見づらいことが考えられるが、本実施形態では、広告受給者が所望の業種のみを選択して表示させるアイコンの業種を絞り込めるので、このような不都合を回避することも可能となる。

【0057】なお、本願における業種は、本実施形態に挙げたものに限られないことはいうまでもない。例えば、銀行、スクール、書店、病院等の種々の業種を追加する構成としても構わない。なぜなら、これらは、顧客ファイルのうちの、店舗情報に含まれる業種情報により区別できるためである。

【0058】2-4-3：検索

次に、「検索」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図3に示したステップSa1のメインメニュー画面（図5参照）において、「検索」のボタン213をクリックする。すると、これを検出した制御手段11は、手順をステップSa9に進ませ、端末101の表示部に検索案内画面を表示させる。そして、端末操作者は、かかる画面において広告に関する情報に対して検索を行なう。広告に関する情報は、すべて店舗登録番号毎の顧客ファイルに格納されているので、制御手段11は、端末101による操作に対して、文字列のアンド・オア検索や、時期的・地域的な条件検索、キーワード検索等を行なって、必要な情報を端末101に送信する。これにより、端末操作者は、所望とする検索結果を得る。

【0059】3：変形例

(1) なお、上記実施形態にあっては、サーバ10と、端末101、102、…とがインターネットNET1を介して接続された構成としたが、本願においては、両者の接続形態については問われない。また、サーバ10と各端末101、102、…との間で電子メールの授受をサポートする電子メールシステムNET2は、インターネットNET1とは別のネットワークによって提供されるものでもよいが、インターネットNET1によってサポートされる電子メールを利用してもよい。さらに、更新情報を授受する手段としては、電子メールに限らず、その他の通信手段を採用してもよい。要は、更新情報の入力がサーバ10から供給される店舗情報入力画面（図8～図10）に従うことなく行えればよい。

【0060】(2) また、実施形態にあっては、サーバ10と接続される端末を端末101としたが、端末101以外であっても良い。また、実施形態にあっては、広告依頼者の端末と広告受給者の端末とが同一の端末101としたが、いずれの端末も両者になり得る。

【0061】(3) また、更新情報作成用の入力フォームは、図11～図13に示した実施形態のものに限

らず、必要な情報の入力が可能であって、サーバ10側で顧客ファイルの項目との対応関係をチェック可能なフォーマットであれば、任意に選定可能である。また、入力フォーマットは、実施形態のように電子メールによってサーバ10から各端末に配信するようにしてもよいが、各端末で作成してもよい。さらには、入力フォーマットを特に用意せずに、例えば図24に示すように、項目名（またはサーバ10が項目を認識可能な何らかのコード情報）と対応する入力情報の組を単に繰り返し入力し、これを電子メールとして送信するようにしてもよい。

【0062】(4) また、更新情報の中に「既登録の削除」を指定する情報を含めることによって、顧客登録自体の削除を行うようにしてもよい。例えば、図11～図13に示した入力フォーマットのヘッダ項目に「削除：」なる項目を追加し、更新を行う場合はこの項目の後ろに何も入力せず、「既登録の削除」を指定する場合はこの項目の後ろに例えば「指定」なる文字を入力し、サーバ10に当該店登録番号についての登録削除を要求するようにすればよい。

【0063】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、予め記憶された広告情報を変更・更新する場合に煩わしさがなく、また、作業負荷が低減できるため広告依頼者の広告意欲を阻害することがない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明における実施形態の構成を示すブロック図である。

【図2】 同実施形態におけるサーバの構成を示すブロック図である。

【図3】 同実施形態の動作を示すフローチャートである。

【図4】 同実施形態の動作を示すフローチャートである。

【図5】 同実施形態におけるメインメニュー画面の構成を説明するための図である。

【図6】 同実施形態における登録メニュー画面の構成を説明するための図である。

【図7】 同実施形態における位置指定画面の構成を説明するための図である。

【図8】 同実施形態における店舗情報入力画面の構成を説明するための図である。

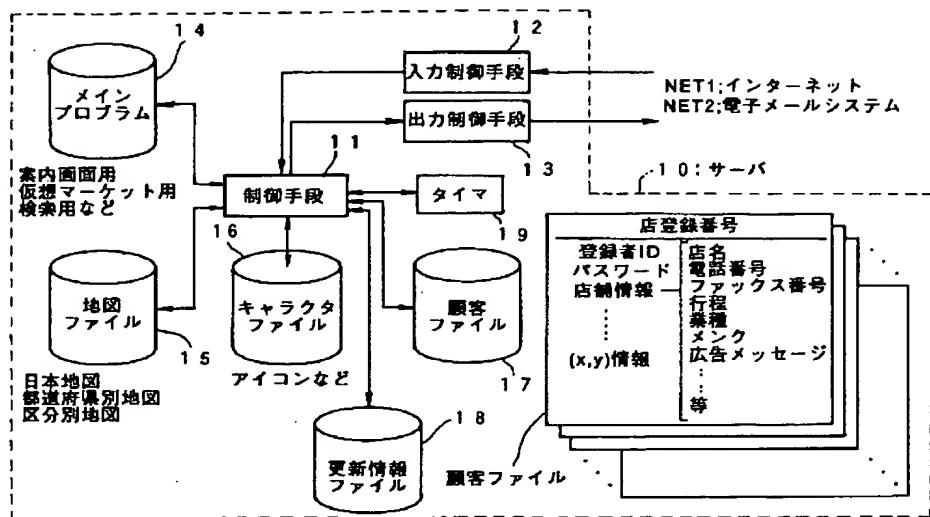
【図9】 同実施形態における店舗情報入力画面の構成を説明するための図である。

【図10】 同実施形態における店舗情報入力画面の構成を説明するための図である。

【図11】 同実施形態における更新情報の入力フォームを業種が「飲食店」の場合を例として説明するための図である。

【図12】 同実施形態における更新情報の入力フォーム

【図2】



【図13】

〈ヘッダ項目〉

店登録番号:

登録者ID:

パスワード:

更新予定日時:

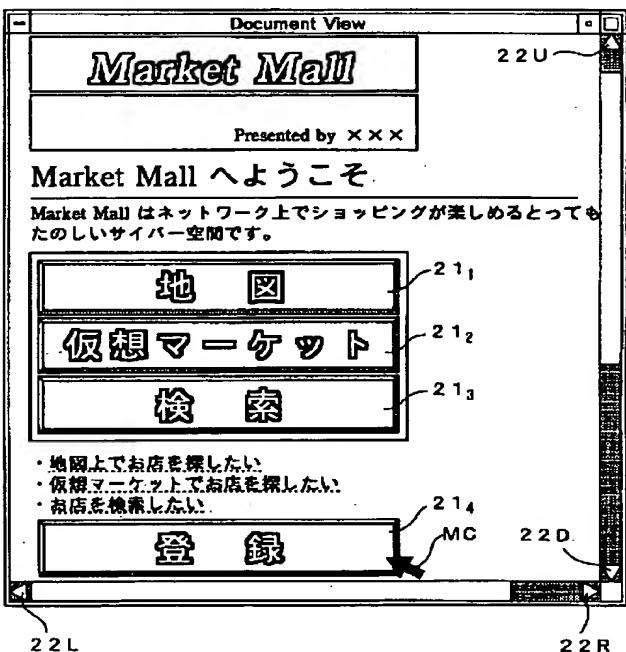
〈顧客情報項目〉

期間:

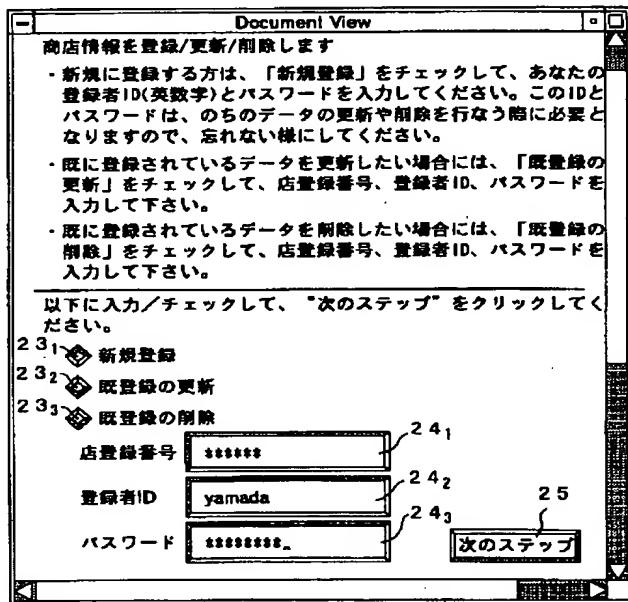
利用可能なクレジットカード:

目玉商品:

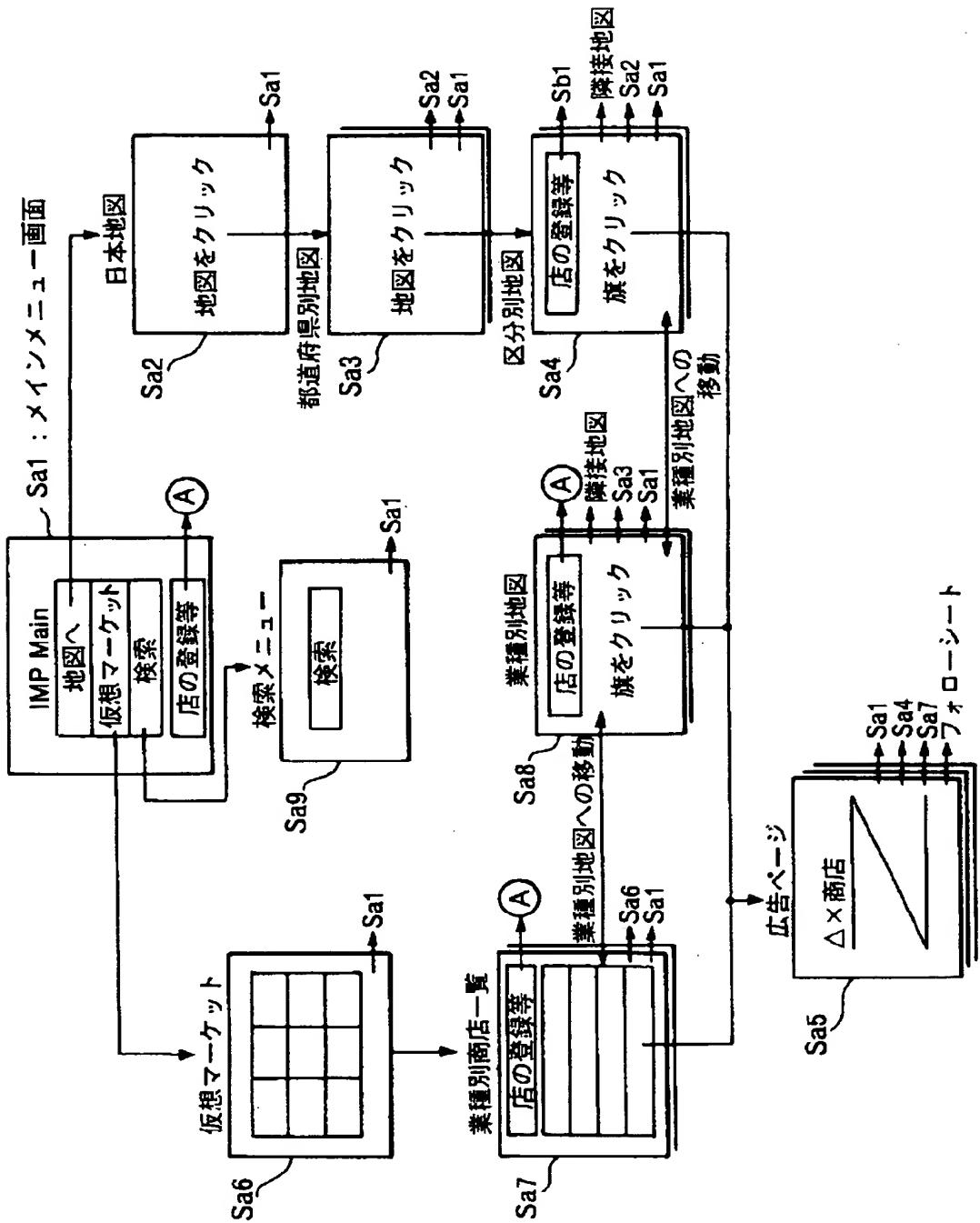
【図5】



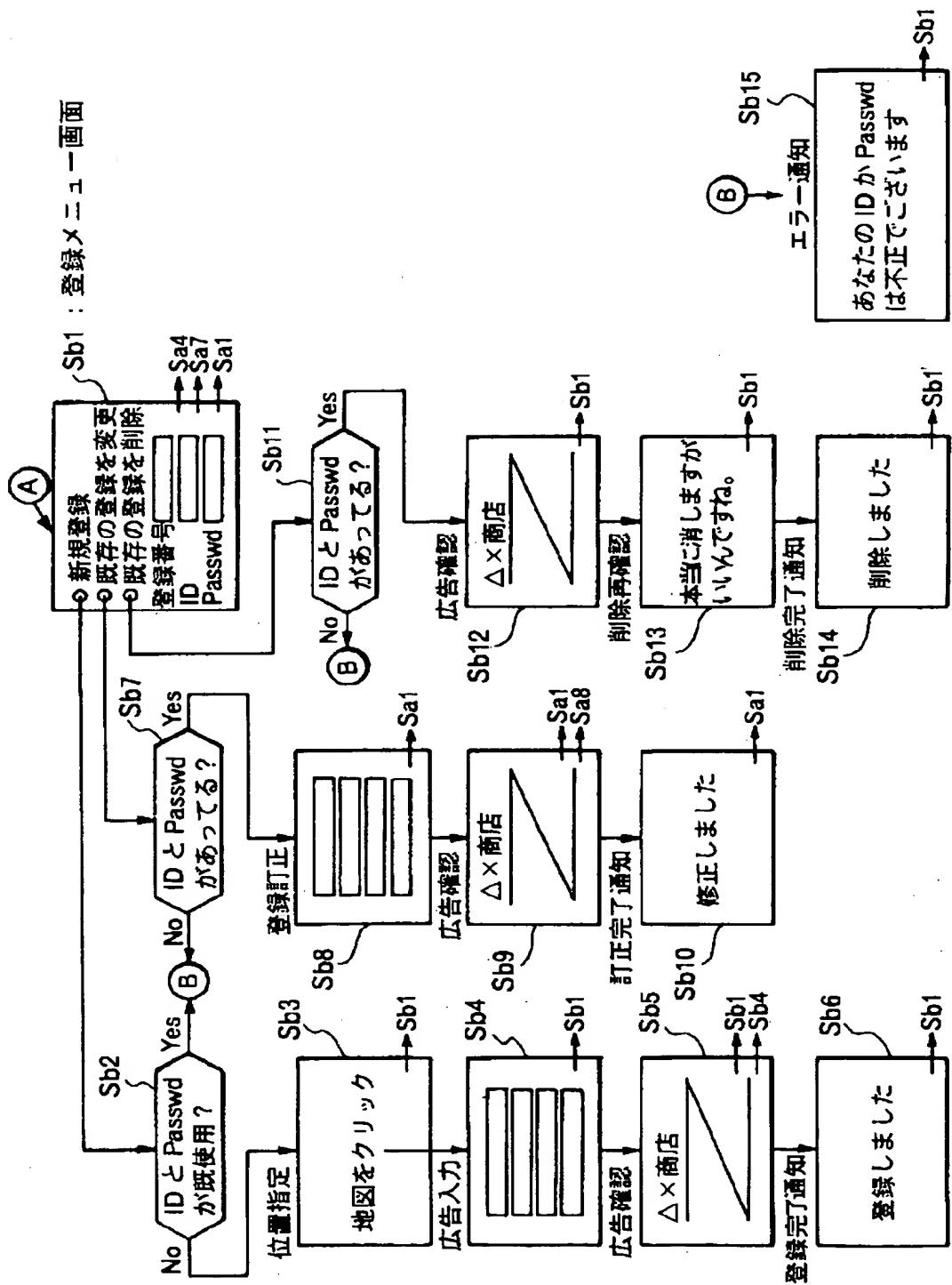
【図6】



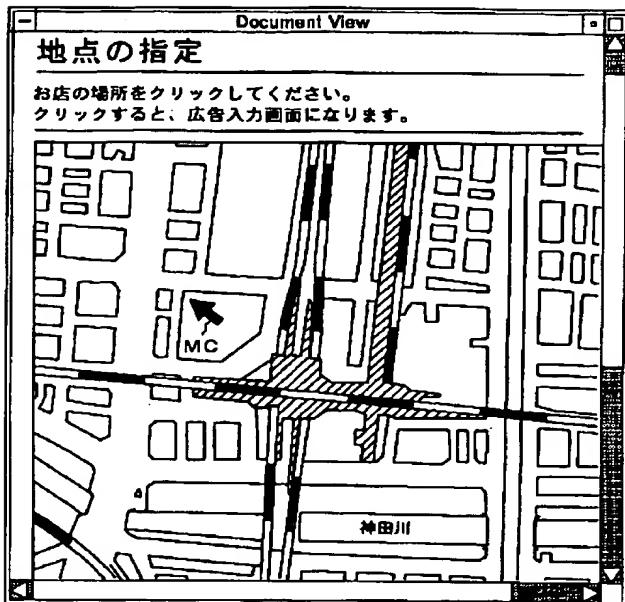
[図3]



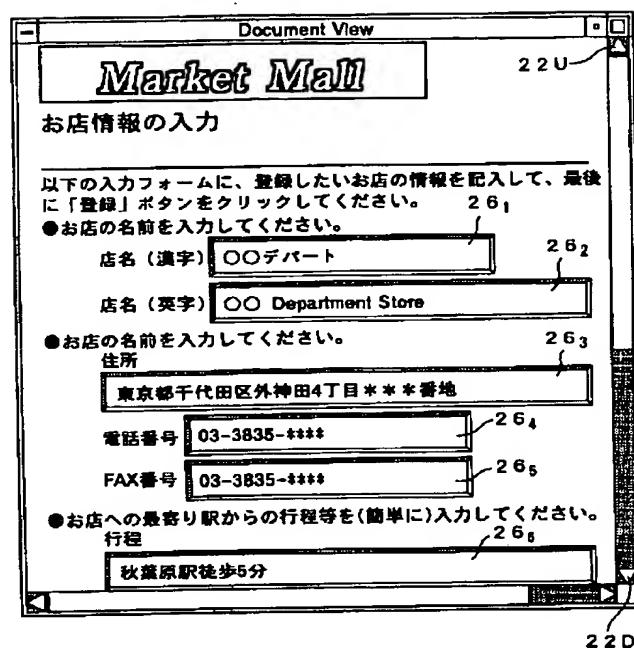
【図4】



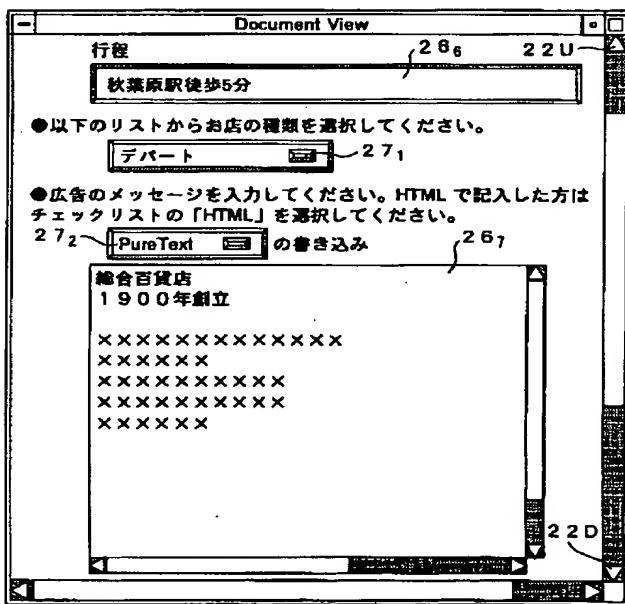
【図7】



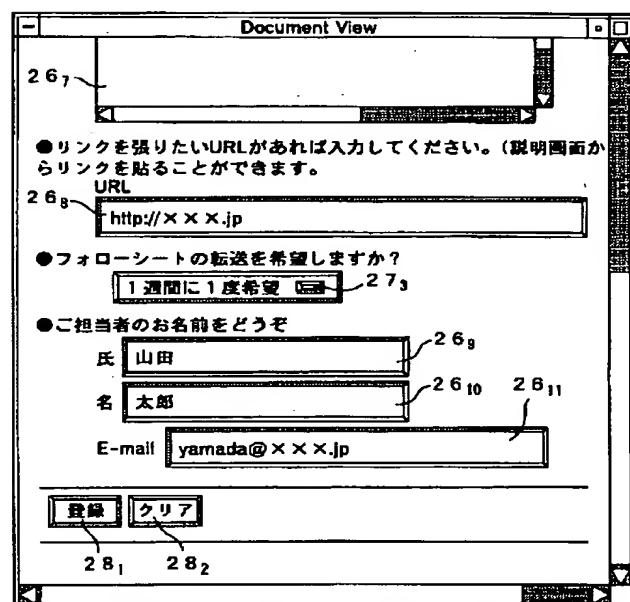
【図8】



【図9】



【図10】



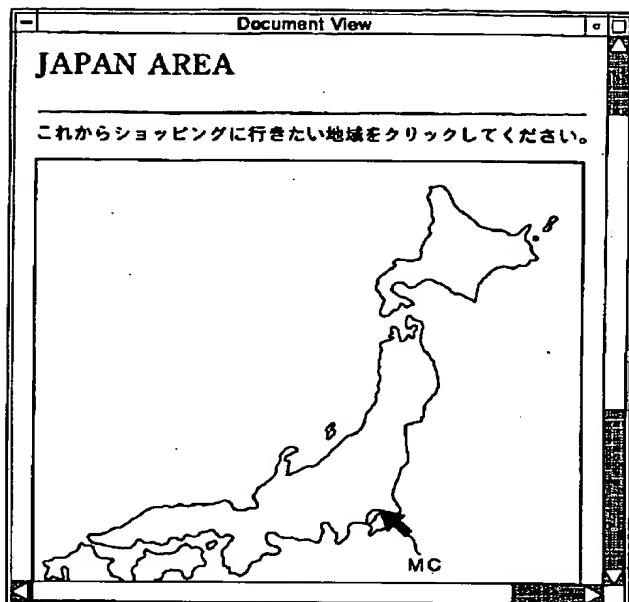
【図24】

店登録番号: T00234519, 登録者ID: stou-s, パスワード: 87y6te,

更新予定日時: , 店名: , 席数: , 予約:

代表的メニュー:

【图 1-4】



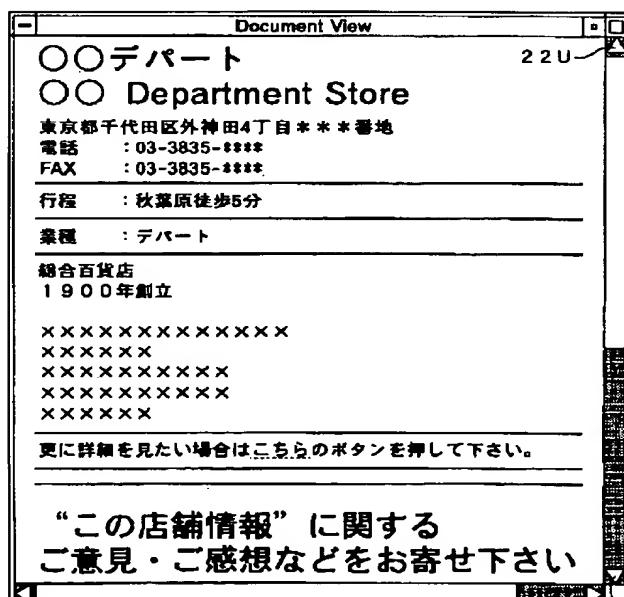
[図15]



【图 16】



[图 17]



【図18】

Document View 22U

“この店舗情報”に関するご意見・ご感想などをお寄せ下さい

下記のFORMにご記入された後、“送信”ボタンを押して下さい。
よろしくお願い致します。

電子メールアドレス 321

サブジェクト 322

“この店舗情報”に関するコメントをどうぞ 34

22D

【図19】

Document View 22U

どちらからアクセスされましたか？ 22U
勤め先から 331

ネットワークにアクセスされる際に主として使用されるコンピュータは？ Aコンピュータ 332

以下もよろしければお答え下さい

お歳をどうぞ 20-29才 333

性別をどうぞ 男 334

お名前をどうぞ
氏 323
名 324 326

ご住所をどうぞ 22L 22R

送信 351 全消去 352 22D

【図20】

Document View

仮想マーケット

仮想マーケットメニュー

個別マークット。△△△△

デパート、百貨店
 郵便局
 コンビニエンスストア
 その他

地図

・△△△△デパート
 -△△△△郵便局
 -△△△△コンビニエンスストア
 -△△△△その他

MC₁ MC₂

【図21】

Document View

仮想マーケット

デパート、百貨店

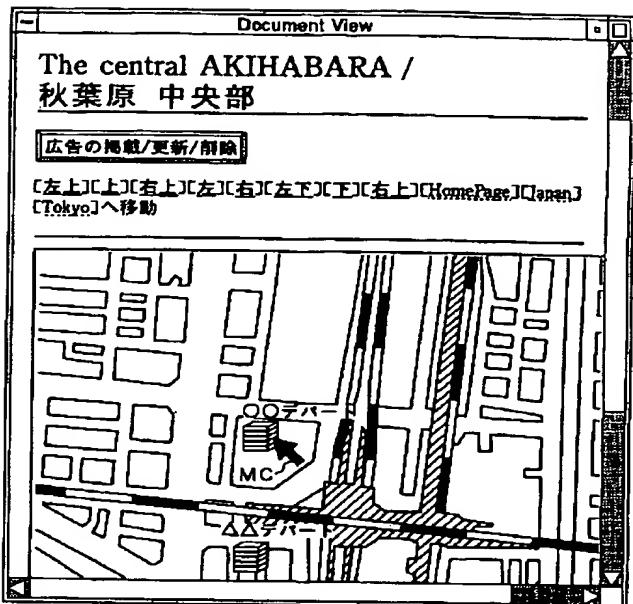
・○○デパート
 -△△デパート

地図

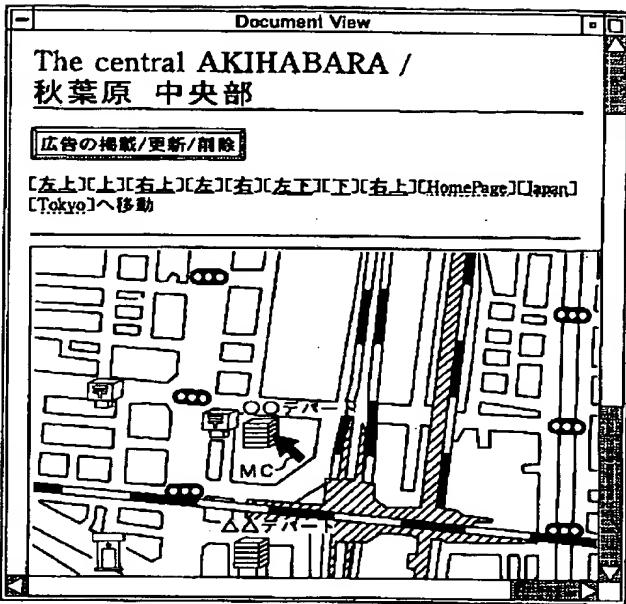
広告の掲載/更新/削除 42

[HomePage][MenuPage][MapPage]へ移動

【図22】



【図23】



フロントページの続き

(72)発明者 細川 克也
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印
刷株式会社内